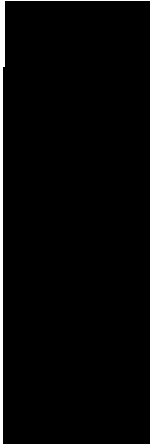


しあわせの里

令和 6 年度 第 6 回運営推進会議録

1. 開催日時 令和 7 年 2 月 21 日（金）16:00～17:00
2. 開催場所 しあわせの里交流スペース
3. 参 加 者 
 - （高齢者福祉課）
 - （あんしん支援センター）
 - （地域住民代表）
 - （地域住民代表）
 - （利用者）
 - （管理者）
 - （事務員）

【議題】

1. 運営推進会議を活用した外部評価の実施 について(IV)

認知症ケア会議について

2. その他

★ 利用者状況及び行事 について

【内容】

当日、委員の皆様と話し合った内容については、別紙の A3 サイズ資料に入力してお示ししております。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前は、各利用者の生活歴や嗜好の情報収集に力を注いでいる。又、入所されてからは本人及びご家族との会話の中やモニタリングから、ニーズや希望の掘り起こしができるよう努めている。ある程度思いが把握できれば、達成可能な希望から実現できるよう事業所単位で計画的に取り組んでいる。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者へのケア・支援については、一律的なものとならないよう心がけている(個別ケア)。思い入れの強い仏具等、所縁の物品の持ち込みは原則了承・推奨している。又、生活歴や習慣をもとに本人が生活しやすい環境づくりを支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・各利用者に対し、毎日の検温と酸素濃度測定、また入浴日の方についてはプラス血圧測定を行い、その数値を記録に残している。又、長いスパンでその数値を観察していくことで、一人ひとりの正常値の範囲を把握し、入院時などは医療機関に向け、そのかたがたの特性の情報提供を行っている。 ・数値化できない日々の行動や表情、反応等については個人記録に文章化した情報を残し、ケアや支援の際の根拠としている。 ・所在不明や交通事故のリスクが否定できないかたに対し、できる限りの安全確認をしながらも、ある程度自由に事業所周辺を散策していただくアプローチを行っている。そのかたの特性しだいでは、安全面よりも環境面及び本人主体の暮らしを優先する考えのもとでの対応を行っている。 ・危険認知能力の低下があり、思い立って行動され転倒等のリスクがあるかたに対し、日々の状態を記録に残し、職員間での情報共有を図り、またヒヤリハットに挙げて対策を講じる等努めている。その際には、日頃の様子などを細かくアセスメントし、その行動をされる原因を探りながら、少しでも本人の望む暮らしに近づけるよう心がけている。危険＝抑制ではなく、まずは本人の思いに耳を傾け原因究明に努めている。		A. 充分にできている(満場一致)	■■■■(高齢者福祉課) 利用者の記録は長いスパンでと記載されていますが健康の記録はと思います。どれくらいのスパンで記録されていますか。 ホーム長 7～8年くらいです。 ■■■■(高齢者福祉課) ホーム長 その7.8年は残しておられますか。 昔参加した時に道路を横断されて危ないという話がありました。 ホーム長 年々道路に出る方も減っていつています。注意はしています。 ■■■■(地域住民代表) 9名の利用者に対して職員は何人体制ですか。 ホーム長 日勤は最低3人体制です。 ■■■■(地域住民代表) 他の施設も人手不足と聞いています。 ホーム長 うちの施設も人員ギリギリで運営しています。

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在入居中の方のほとんどが農業に携わって来ておられる。事業所敷地内にある畑を活用し野菜を育て、各利用者のできる力に応じた作業に関わることができるよう支援を行っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入所時に本人のなじみのもの(家具、仏具、趣味のもの等)があれば、持参していただき、今まで生活して来られたことを継続して行っていただけるようにしている。また、ご家族の写真等を居室内に飾ることで安心感を得られるように努めている。 ・余暇活動で作成された塗り絵や貼り絵等を居室やリビングに飾り、達成感や満足感を得ることができるようなアプローチを行っている。 ・ご家族の理解を得ることが前提であるが、携帯電話を適切に使用できるか否かが不透明なかたであっても大切なかたとの関係がつながる手段として続けて所有していただいている。 ・お菓子を自分のペースでつまみたいとの思いを持っておられるかたに対し、適切なペースでご家族からの差し入れを渡すよう取り組んでいる。 ・洗濯を生きがいにしておられる利用者のかたには、実際に事業所の洗濯機を使用し、洗濯をしていただいている。洗濯機の操作方法の違いにより洗濯出来ていないことが多いが、職員が介入しさりげなくフォローする対応を継続している。			
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・地区の例大祭の様様を地域住民の方に披露する場として中庭を提供している。その際、入居者の皆様も獅子舞をみせていただいたり、お酒を振舞っていただいたりして楽しませてもらっている。 ・基本的な感染症対策を講じながら季節に合った戸外へのドライブ外出や家族と一緒に買い物や一時帰宅などの支援もおこなった。 ・身体的な自立度が高くリスク対策のための付き添いを好まれない利用者に対し、可能な限り陰から見守り散策していただくことでご家族の理解を得ている。現在もご家族には定期的に連絡を入れ期間中のご様子と考えられるリスク(入浴や散歩時における事故等)を報告している。そのかたの性格も加味したうえで、リスクの全面排除よりも、ある程度自由に行動していただくスタンスを選択している。 【補足説明】 感染症については、現在も高齢者施設の対応はさほど変わってはいない。感染状況の推移にはアンテナを張りつつも、その時その時でき得る支援を心がけている。			

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的(月に3～4回)に実施しているクッキング企画の場合は、食材を切る役・調理自体に関わる役・盛り付け役等を能力に応じて担っていただいている。また、日常の食事とは異なる雰囲気づくりを行うことで、重介護のかたでも、その場を楽しんでいただけるよう支援している。 又、日常的な環境整備(掃き掃除・シーツ交換等)もそのかたがたの残存能力に応じた役割を担っていただくよう働きかけている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者一人ひとりの「出来ること」や「好きなこと」「やりたいこと」に着目しながら、家事等(裁縫、洗濯物たたみ、洗濯物干し、米研ぎ、調理、膳拭き等)の役割を担ってもらっている。 ・利用者のかたのこれまでの生活歴をご本人自身やご家族から伺ったり、日々の何気ない会話から興味のあることを引き出し、活動的に過ごしていただけるよう努めている。 ・意思の表現が難しいかたには、実際に家事や畑仕事、レク等に参加していただき身に染みついている動作(手続き記憶)の発見に努めている。又、それを今後の余暇活動に活かすよう取り組んでいる。 ・遠慮しがちな傾向のある利用者のかたから食べたい物を聞き出す方法として、旬の食材についての会話や昔の食卓の光景についての会話を積極的に交わすよう心がけている。そのアプローチにより本音を引き出すよう努め、食事以外の活動にも活かすよう努めている。 ・利用者と交わす昔の苦労話では心からのねぎらいの言葉を送ったり、余暇活動の際には各利用者に肯定的な声かけを行うよう努めている。それが、認知症の進行により自信や自尊心を失いかけているかたがたにとって、いきいきした時間を取り戻すことにつながるとの意識を持ち取り組んでいる。		A. 充分にできている(3名) B. ほぼできている(1名)	(地域住民代表) 一人一人コミュニケーションをとられていて注意してみておられ大変だと思います。利用者の方が自分らしくできておられると推測されます。A でいいと思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	・以前のような地域のイベントに参加しての交流はやりたいが難しい状況は続いている。今年も地区例大祭には入居者の方も見学させていただいたが、他イベントの参加やボランティア等との関わりを持つことはできなかった。今後は積極的に働きかけていきたい。 【補足説明】 今年度よりボランティア等の受け入れも法人内では再開している事業所もあるものの	(高齢者福祉課) 例大祭10月ですか。以前は他の行事にも参加されていましたか。 ホーム長 以前はボランティアが多かったです。地域の子供たちが来てくれました。 (高齢者福祉課) 機会が少なくなってきましたか。 ホーム長 ボランティアはコロナ禍後ほとんどなくなりました。外出などに出かけたいと思いますか職員不足でなかなか積極的にできないところがあります。		

				見送ることにした。3月には地域合同避難訓練を開催予定(地域住民の方にも参加していただく)。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入所されるにあたり、本人の嗜好や趣味等の聞き取りを丁寧に行うことで、そのかたのよりよい日々の実現に近づくよう取り組んでいる。 ・職員自らが地域住民と親交を深められれば、利用者と地域住民の結びつきも強くなるとの考えのもと交流を心がけている。年度始めに「町内運営協力金」を納め、敷地内での獅子舞披露等の催し事の実施に活用していただいている。 ・必ずしも、当事業所で生活を送っていることを自覚していただくことにこだわらず、自宅周辺や嫁ぐ前に住んでおられた場所での生活と混同していらっしゃる際は、より本人の安心感が得られる設定に合わせた対応を心がけている。 ・小規模な事業所である利点を活用し、より利用者と職員がなじみの関係が構築できるよう努めている。その取組により、多少のわがままや本音を言ってもらえる関係性を築いている。 ・新年会や敬老会等の行事や日常的に実施する調理企画等において、各利用者の笑顔ができるだけ多く見られるよう努めている。又、そのことが職員にとっても喜びとなるような風土づくりに取り組んでいる。 ・「面会」や「外出」の制限も緩和されてきた。ただボランティアの受け入れ等についても法人として再開している。基本的な感染症対策を講じながら今後も地域交流を深めて行くよう努める。		A. 十分にできている(2名) B. ほぼできている(2名)	■■■■(あんしん支援センター) 感染症などで外出は難しいですか。 ホーム長 室内でできるおやつ作りなどが多いですね。 ■■■■(あんしん支援センター) コロナ禍もあって外出も難しいと思いますがもう少し工夫があってもいいように感じました。感染対策の為ドライブのみとかでのいいと思います。 ■■■■(地域住民代表) 職員不足だと色々難しいですね。 食事を外注にするなどの対策もあっていいと思います。 ホーム長 今は3食外注です。 ■■■■(地域住民代表) 職員不足の中手が取られない選択もあっていいのではないかと思います。